Aftercare

■はじめに

あなたのピアッシングは、衛生的で、的確にピアッシングが行われ、最適なピアスが装着されたので、成功に終わりました。
そして、その成功の後には、アフターケアがとても大切であり、ピアッシングが成功したからと言って、ピアスが完成した訳ではありません。ピアスの穴は、皮膚が内側まで出来上がった状態で初めて"ピアスと呼べます。しっかりとアフターケアをし、綺麗なピアスホールを完成させて下さい。

《外部全般》
（耳、鼻、顔など）



滅菌済みの生理食塩水で傷口を洗浄する方法です。
アルコール消毒は、強すぎる消毒の為、ピアスのケアには不向きです。そして、薬用石鹸やボディソープなどは、ピアスのアフターケアには不衛生です。そして、以前は良いとされていたホットソーク（ソルトソーク）も不衛生ですので、これらの方法でアフターケアはしないで下さい。

◎使用するもの - NeilMed Piercing Aftercare

・1 日に 2〜3 回スプレーを吹き付けてください。（1 日 1 回では不十分です。）
※スプレーした後は、洗い流したり拭き取らないで下さい。その代わり、良く乾かして下さい。

・黄色いかさぶた（分泌液の固まり）をシャワーで洗い流す。（２週目以降）
※かさぶたは無理に剥がさないでください。

《口腔内》
（舌、口内）



ノンアルコールのマウスウォッシュで口内をゆすぐ方法です。
アルコールを含むマウスウォッシュは、強い良いケアの為、ピアスのケアには不向きです。
必ずノンアルコールのマウスウォッシュを使用してください。

◎使用するもの - GUM ガム・デンタルリンス　-　ノンアルコール

・食後、喫煙後に口をゆすいで下さい。
・食事以外に何か食べたり飲んだりした場合は、水で口をゆすいで下さい。

▲重要なこと
・ピアスを舌で動かしたり、噛んで遊ばないで下さい。
・就寝時は、腫れている部分（頭）を高くして寝て下さい。
・ニコチンが治癒を遅らせるので、たばこの本数は減らして下さい。
・歯のホワイトニング製品は避けて下さい
・感染防止の為、全ての経口接触は避けて下さい。
・ダウンサイズするまでは、柔らかい食べ物やミキサーにかけた食べ物を食べて下さい。

《胴体》
（おへそ、乳首）

◎外部全般のアフターケアを参照

※注意事項
・衣類との摩擦を必ず避け、引っ掛けたりもしないで下さい。
・感染防止の為、治癒中の傷口に体液がつかないようにして下さい。
・女性のニップルピアッシングの場合、圧迫することを避ける為、最低２か月間はマタニティーパッドを使用して下さい。
そして、圧迫感のない下着を着用してください。

《性器》

◎外部全般のアフターケアを参照

※注意事項
・最初の１週間は出血することがありますが正常です。
・治癒期間中は（オーラルセックスを含め）セーフセックスを実践してください。
・性行為は違和感がなくなってから再開できます。
・運動などの身体活動によって刺激を与えないようにして下さい。
・治癒期間中はサポート力のある下着を着用して下さい。
・治癒期間中は、性行為の前後でシャワーを浴びて下さい。

《サーフェイス》
（サーフェイスピアッシング、マイクロダーマル）

◎外部全般のアフターケアを参照

▲重要なこと
・菌が繁殖する為、バンドエイドなどで患部を覆ったりしないで下さい。
・引っ掛けたり、ピアッシングを下にして横たわったりしないで下さい。
・内出血がある場合は、10 分間隔で間接的に冷やしてください。
・ジュエリーの交換の際は、ご来店下さい。

※サーフェイスピアッシングやマイクロダーマルは永遠に維持できるピアッシングではありません。
ピアスが浮き出てきたら外さなければなりません。その時は、再度ご来店下さい。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ 治癒過程 ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

1 週目（炎症期）
ピアスをあけたばかりなので、腫れ始め、赤みが出たり、局所的な内出血、軽度の出血は正常です。
ピアッシング部位が熱っぽい場合は、患部を間接的に冷やしてください。

2 週目以降（治癒初期）
新しい皮膚細胞が生成される過程で、黄色いかさぶた（分泌物の固まり）が形成されます。
剥がし取ったりはしないで下さい。

ダウンサイズ
ピアッシング部位の腫れが引き、ピアスの軸の部分が余ります。（見え始めます。）
長さの余ったピアスは最適な長さではない為、ピアスの軸の部分を短くする交換が必要となります。
再度ご来店下さい。

目安 ――――――――――――――
・外部全般　-　10 週間〜
・口腔内　-　舌：3 週間〜、口周り：4 週間〜
・胴体　-　12 週間〜

ダウンサイズ後（回復期）
順調に完全治癒に向かっている段階です。ピアスには引き続き触れないでください。まだかさぶたが出る場合は、スプレーでの洗浄を続けてください。

3〜6 ヶ月（成熟期）
ピアスの内側に皮膚が形成されていきます。完全治癒までにはもう少し時間が掛かります。

12 ヶ月以上（正常化）
完全に治癒し、永久的なピアスホールが完成します。刺激を与えないよう、引き続き注意が必要です。

状態確認（チェックアップ）
ピアスの状態確認はいつでも承れます。ご心配な場合やご不安の場合は、お越し下さい。

■大切なこと

・体調管理
体調管理は一番と言っても良いくらい、重要なことです。ピアスをあけるということは、傷を作ることでもあります。
傷を早く、綺麗に治す為にも、バランスの取れた食事や十分な睡眠を取るなど、体調管理はとても大切です。鉄分不足や免疫力の低下は、治癒を遅らせます。そして、インスタント食品やレトルト食品なども控えるべきです。

・品質の良いピアッシングジュエリーを使用する
ピアスは体の中を通り、装着するものなので、健康の為にも、体に対して安全なピアスを身に着けることも重要です。
金額の安い、低カラットで低品質のゴールド、鉄、メッキ、シルバーは、俗にいう金属アレルギーを引き起こします。
そして、ケミカル素材のアクリルやプラスチックは癌を引き起こします。

・ピアッシングジュエリー着け外したり、交換しない
ピアスホールが完全治癒するまでは、ピアッシングジュエリーを着け外したり、交換することはできません。
治癒期間中の、着け外しや交換により、ピアスホールに傷が付き、酷く腫れたり、ピアスが通らなくなったり、塞がります。
諸事情により一時的に外さなければならない場合は、慎重に行わなければならない為、一度ご相談下さい。
尚、完治後の交換は自由に行って下さい。

・塞がない／覆わない
ピアッシングは擦り傷や切り傷と違い、乾かすことが必要です。乾かすのに必要な空気の流動を塞ぐことにより、ピアッシングの治癒が長引きます。
空気の流動を防ぐ可能性のある、軟膏やオイル、メイクアップ、ローション、ヘアスプレー、その他のパーソナルケア製品の使用は、治癒期間中は避けてください。これらの使用により、同時に化膿や炎症を引き起こす原因にもなります。

・不衛生な場所へ出入りしない。
不特定多数の人が出入りする場所や衛生的ではない場所（海、プール、川、温泉、銭湯、サウナ、工場、工事現場など）への出入りによっても、ピアスホールへ菌の侵入により、化膿や炎症の原因になります。完治するまでの期間は、控えて下さい。

・刺激や負担を掛けない
完治するまでのピアッシングはとても繊細です。
分かり易く言うと、"触らない / 触らせない"、"ぶつけない"、"引っ掛けない"、"圧迫させない" ことです。
こういった負担を掛けることにより治癒を阻害し、ピアッシング以上の痛みを伴ったり、大量出血、埋没、肉芽腫の発生を起こす原因となります。最悪の場合、ピアスをあけた位置や角度がずれてしまい、最終的には完全治癒せず排除されてしまいます。あるいは、肉芽腫がケロイドとなり、手術せざるを得なくなります。日頃からピアッシング部位を優しく丁寧に扱って下さい。特に、癖になって触ってしまったり、衣類の脱着時や髪の毛には注意が必要です。

・定期的なケア
完全治癒後もピアスホールを清潔に保つ為にも、定期的にケアを行って下さい。完全治癒後のケアは、シャワーでよく洗い流したり、ボディソープを使用しても構いません。ピアッシングジュエリーは、超音波洗浄機を使用したり、磨いたりするのも良いでしょう。

・ピアスの確認
ネジ式になっているタイプのピアッシングジュエリーは、自然とボールが緩んでくる事がございますので、ケアをする前に緩んでいないか確認するようにして下さい。

APP
ASSOCIATION OF PROFESSIONAL PIERCERS

PROUD MEMBER
VERIFY AT SAFEPIERCING.ORG